

■自然環境の保全・学習イベントを開催

「NPO法人 元気おおとよ」では、環境保全・学習を主な目的としたイベントを実施しています。大豊町内の小学生～大人がゴムボートで川下りをしながら、ゴミ拾いと環境についての学習をするという内容で、7月29日・8月26日の2度にわたり開催しました。述べ40名ほどの参加者の中には、初めて吉野川を下る人も多く、自然の美しさ・川下りの楽しさ、環境整備の大切さを実感したようです。

また、来年1～2月には河川・道路周辺の景観整備と山や木の役割について学習する、自然環境の保全・学習イベント第二弾として「不用木の伐採体験」も企画しています。大豊町内の小学生以上ならどなたでも参加できますので、興味のある方はぜひご参加ください。詳細は日程等が決まり次第、告知いたします。



■アーティスト・イン・レジデンス事業をはじめます



川原さんのプロフィールはこちら
<http://www.shotakawahara.com>

9月下旬より約3ヶ月間、抽象絵画を専門とする芸術家(アーティスト)：川原将太さんが、穴内校舎を拠点として制作活動されることになりました。川原将太さんは、昨年11月より「都市から農業へ」をテーマに、農業生産法人での研修を柱にしたインターンシップサービス「ファームビズ」のスタッフとして、れいほく各所の農家さんと研修生をつなぐサポートをしてられました。約半年間駐在するうちに嶺北の魅力に惹かれ、ここでの制作活動を希望するようになったとのこと。

川原さんの制作スタイルは、まずはじめの2週間は教室にこもって作品の制作をし、その後は制作風景を地域の方々に見に来てもらえるよう『オープンスタジオ』として開放します。その上で希望者には、実際に制作のお手伝いをしてもらう『ボランティアアシスタント』を募集します。その後、作品が揃ったところで『作発表・展覧会』を開きます。地域の方々との交流を通じて地域の影響を受けながら作品を生み出すこのシステムは、芸術をより身近に感じてもらうよい機会となるでしょう。

アーティスト・イン・レジデンスとは？

国内外のアーティストをひとつの地域に一定期間招聘し、創作活動をしてもらう制度や事業のことをいいます。アーティストたちは滞在期間中、創作の過程を公開したり、地域の人々と交流をしながら、作品を制作します。芸術家の創作活動および地域交流を支援する事業です。



■おおとよガレット出店情報！



10月19日(日) 10:00～16:00
土佐の豊穰祭(ゆとりすパーク)



10月26日(日) 10:00～16:00
秋のお山のてづくり市(本山町役場周辺)

♪ガレットの感想をいただきました♪

私がガレットで好きなところは、味付けに「濃い味」のものがかかっていないということです。『味に物足りない』と言う方もいらっしゃると思いますが、そこにマヨネーズやケチャップをかけてしまうとガレットとはイメージが違ってしまいます。そうではなく、そば粉と野菜など、素材そのものの味を楽しむのがいいんです！また、ガレットは意外とお腹にたまるしカロリーも高すぎずいいですね。

—大豊町在住、20代女性—



■What's NPO?

新コーナーの「What's NPO? (ファッツ エヌピーオー)」です。この一問一答コーナーで私たち元気おおとよをもっと知ってもらえたら幸いです。どうぞよろしく！^^

【問】NPOって何なが？

【答】NPOとは非営利団体という意味の略語です。つまり、営利を目的としない市民の活動のことで、事業で得た収益は団体の構成員で分配せず、事業の活動費に充てられます。社団法人や財団法人、宗教法人なんかも広い意味でこれに当たりますが、NPOとはよくNPO法人を指すときに用いられます。社会一般の利益を目的とした市民団体で、法人格(法律上、人の集まり等を個人と同じように取り扱うこと)を得た団体のことです。よくNPO法人のことをボランティア団体といわれる方がいますが、収益事業も展開できる点で大きく異なります。

大豊 de My Life

東京ではランニングは普通に行われていることですが・・・



作：地域おこし協力隊 3号

■大豊どこでしょう？ IN 西峰

今回の大豊どこでしょう？は西峰地区に行ってまいりました。
なぜ今回は西峰なのか？理由は西峰動物園と京柱峠茶屋に行きたいというのがはじまりです。
京柱峠茶屋は比較的有名だと思いますが、西峰動物園などというところが在ると知った私は、「大豊町に動物園！？これは行かねば！！」と思ったわけです。
そして今回は、最近、交流させていただいている大豊役場の地域おこし協力隊の方々が西峰の担当ということもあり、西峰地区を案内していただけることになりました。
まず、私たちが向かった先は、西峰の谷向かいに位置する柚木にあるトマト畑を見学させていただきました。この辺りは古くからトマトの産地として有名で、高冷地であることを生かして美味しいトマトが作られています。農家の方の話では、今年は8月の大雨の影響でトマトの収穫量もかなり減ってしまったとのこと。
続いて、本日のメインの一つ西峰動物園に到着。場所は永森商店さんの道路向かいに大きな飼育小屋があるところです。
まず、出迎えてくれたのはガチョウのウドくん。続いてクジャクを見ることができました。名前が付いているのなぜかウドくんだけでした(笑)
人懐っこい性格で、人がくるとすぐ寄ってきてくれます。クジャクは尾を拡げて欲しかったのですが、今は時期ではないとのこと、でも、大豊町でクジャクを見ることができるとは思いませんでした。
動物の管理は永森商店の方がされているのですが、亡くなられたご主人が好きで様々な動物を飼い始めたのがきっかけだそうです、以前はアライグマや珍しい白いクジャクど様々な動物がいたそうです。



そして今回の最終目的地、京柱峠茶屋に到着。険しい山道を登っていくと、山頂である徳島県との境に本当に茶屋が現れます。これだけでもビックリですが、中に入ると訪れたお客さんたちのメッセージの多さにこれまたビックリ！内容から特に登山者やバイク乗りの方々に有名なことが伺えます。
早速、名物のしし肉うどんを注文。甘辛く煮たしし肉としっかりとしたダシの味がマッチしていてとても美味しいうどんでした。山頂からの眺めも堪能できるので気分も格別です。
最後に店の方と記念撮影をして終了しました。
今回の大豊どこでしょう？いかがだったでしょうか？
次はあなたのまちにも現れるかもしれませんよ～。^^

■コラム フェイス to 地球温暖化

本年3月に横浜で開催された「IPCC（機構変動に関する政府間パネル）総会」の前に慶応大学で、『「伝えよう！地球温暖化」プロジェクトフォーラム』が開催され、国立環境研究所の江守正多氏が、IPCC報告書の内容などにに基づき、地球温暖化の仕組みや今後の気温上昇予測などを報告し、『過去132年間にせかいの年平均気温は0.85℃上昇した。（中略）大気中の何種類かの「温室効果ガス」のひとつ二酸化炭素が増え続けている。人間が化石燃料を燃やしたり森林を伐採して、大気中に二酸化炭素を放出してきたため、IPCCは、このような人間活動が地球温暖化の主な原因である「可能性が極めて高い」と結論づけている。近年、日本でも猛暑日や大雨による被害が増えており、地球温暖化の影響が懸念されている』と述べている。また、温暖化の問題は非常に大きく複雑でいろいろな問題とつながっているので、全世界でこの問題に当たらなければならないとも述べている。そして、地球温暖化のポイントに次の項目をあげた。（鄙・ひな）

- 今後の対策によって、特に2005年以降の世界の気温上昇に大きな違いが出てくる。
- 海よりは陸、北極近くで気温の上昇が激しい。
- 寒い年があっても、長期的に見ると気温は上昇し続けている。
- 温暖化の影響で、大雨による水害や干ばつの増加、生物種の絶滅の加速、海面上昇などが起こっている。
- 産業革命以降の平均気温上昇を2℃以内に抑えるのが温暖化対策の国際的な目標。

2100年の世界の平均気温の変化の予測（1986年～2005年を基準とした変化）

有効な温暖化対策を取らなかった場合	2.6 ～ 4.8℃ 上昇
厳しい温暖化対策を取った場合	0.3 ～ 1.7℃ 上昇

8月の集中豪雨災害などで地球温暖化が取り上げられていましたが、今回は主に地元の高知新聞で昨年の12月と今年取り上げられた温暖化に関する記事を抜粋して紹介します。

2013・12月30日（1ページの特集）
データが語る地球環境2013（温暖化防止道遠く、CO2濃度400ppm超え、今世紀末気温歳々4.8度上昇）、温室ガス排出歯止めなし、森林減13年で日本6個分（輸入多い日本にも責任）、減少目立つ漁業資源、「価値観の転換必要」（大学教授の評論文）

1月13日（社説） 重い警告受け止めよ・温暖化防止地球温暖化はゆっくりではあるが着実に進んでおり、既に地球上の広い範囲で悪影響が出ている。今すぐ手を打たないと、地球の将来はもっと深刻な事態になる。IPCC報告書にも希望はある。「今後数十年で温室効果ガスの排出を抑制すれば、今世紀後半の気候変動リスクを軽減できる」というのだ。温室効果ガスの抑制には長い時間がかかる。取り組むのは今しかないと受け止めるべきだ。国際社会の結束

4月1日 IPCC新報告書「温暖化 紛争リスク増、4度上昇で被害深刻」温暖化によって居住地を追われる人が増えたり、貧困が悪化して紛争の危険性が高まったりするなど、人間の安全保障に影響が及ぶことを初めて指摘した新報告書を横浜市で発表した。